

日本熱帯医学会賞			
年度	受賞者	所属	受賞理由
2004	平成16年 小島 莊明	国際寄生虫対策アジアセンター	住血吸虫症の研究とわが国の国際寄生虫対策への貢献
2005	平成17年 野中 薫雄	琉球大学	オンコセルカ症およびリーシュマニア症の研究と対策への貢献
2006	平成18年 木村 英作	愛知医科大学	リンパ系フィラリア症制圧計画の基礎となる南太平洋サモアでの研究や近年の尿内フィラリア特異抗体を診断に応用する研究
2007	平成19年 一盛 和世	世界保健機関	世界フィラリア症撲滅計画の策定への寄与。太平洋の島々のフィラリア症の制圧への貢献
2008	平成20年 大石 和徳	大阪大学微生物病研究所	ウガンダにおけるエイズ関連日和見感染症やフィリピンにおけるデング出血熱などに関する臨床的研究
2009	平成21年 平山 謙二	長崎大学熱帯医学研究所	永年にわたり熱帯地域における感染症のヒト宿主抵抗性の遺伝子支配に関する研究に従事され優れた業績を残した
2010	平成22年 川本 文彦	大分大学	マラリアの迅速診断・迅速治療に関する画期的方法を開発するとともに、その技術を東南アジア各国に紹介し、各地の医療従事者を教育して人材育成および技術の拡大に尽力した
2011	平成23年 西淵 光昭	京都大学東南アジア研究所	永年にわたり熱帯・亜熱帯地域における細菌性腸管感染症の病原体生態学に関する研究に従事し優れた業績を残した